

設立の背景と趣旨

私たちの社会生活や経済活動で利用される情報は、その大多数が実空間の状況や位置に関するものだといわれています。様々な情報を利用するときに、その情報の対象となる空間がどのような状況にあるか、どのような位置や配置になっているかを考えることは、企業活動や地域振興・安全の観点からも、また私たちのなげない日常生活においても不可欠の要素といえます。

ウィルコムでは、来年度より、高速なモバイル通信が可能となる次世代PHS(ブランド名 WILLCOM CORE)サービスの提供を予定しています。WILLCOM COREサービスの高速な通信回線を利用すれば、動画などの情報を円滑に通信することが可能となります。

このWILLCOM COREの導入を踏まえ、ウィルコムでは、カメラ/センシング機器ベンダ・警備保障会社・ソリューション事業者・自治体等の様々なプレイヤーの協力の下、WILLCOM COREの通信ネットワークを活かした広範な定点設置型カメラ・センサネットワークを構築、運用することで、以下の目的を含めた様々なサービスの実現が可能であると考えております。

- ① 安心・安全を目的とした市街地の防犯
- ② 災害状況などの観測(河川・山岳・港湾など)
- ③ 天候・環境情報の収集
- ④ リアルタイムな交通状況把握
- ⑤ 企業における機器・店舗状況の確認 など

又、技術的にも、WILLCOM COREは、定点設置型カメラ・センサネットワークの構築にあたって、その特徴を十分発揮できるものと確信しています。

<WILLCOM COREの特徴>

- ・高速な無線通信環境(ハイビジョンクラスの動画伝送が可能)
- ・有線回線の敷設が不要であり、簡易にカメラの設置が可能
- ・W-SIMを利用し、様々なデバイスを開発することが可能
- ・16万以上の基地局設置場所を活用した監視カメラの設置

さらにWILLCOM COREの特徴を活かし、デジタル・サイネージやIPTV、またはエリア・マーケティングへの活用等、カメラ・センサネットワークに続く新たなビジネス・サービスの立ち上げが期待されます。

こうしたWILLCOM COREはじめとしたBWA(高速無線アクセス)を活用した、ユビキタスネットワーク社会の実現を達成するために、この度ウィルコムは、関連企業・団体・学術研究機関間における事業連携、産学連携を推進する組織が必要であるという認識のもと、「BWAユビキタスネットワーク研究会」の設立を企画いたしました。本研究会では、賛同企業・団体・学術研究機関による、WILLCOM COREネットワークを活用した定点設置型カメラ・センサネットワークについての意見交換・実現に向けた準備を通して、安心・安全な社会の創造を図ります。

関係各位におかれましては、本研究会の趣旨をご理解頂き、皆様のご参加とご協力をお願いする次第でございます。

本研究会の目的及び活動内容

本研究会は、WILLCOM COREサービスをはじめとしたBWAユビキタスネットワークを活用した幅広い産業化や学術研究の支援を目指し、参加者自らが事業を行う際の事業・研究主体、コーディネーターとしての役割を担い、官公庁、自治体、地域社会とも連携を図りながら、各参加者が容易にBWAユビキタスネットワークを活用したビジネス・サービスが展開できる環境を整備し、新規産業創造、市場顕在化に寄与することを目的とします。

本研究会では、以下の様な活動を実施します。

- ① BWA(WILLCOM CORE等)を活用した産業化の推進に必要な検討や情報の交換、相互交流
 - (1) サービスごとに設定された部会での具体的な産業化検討
 - (2) 審議会による法制度、社会的な意義、広報等の検討
 - (3) WILLCOM CORE関連事業の推進に必要な共通プログラム、技術資料等の提供
- ② BWA(WILLCOM CORE等)を活用した産業化に関する総合的支援の実施
 - (1) 本事業の推進に関する支援(産学連携、未公開データ調査・公開への調整等)
 - (2) 産業化にあたっての調達情報の収集と提供、及びコーディネート
 - (3) セミナー開催等、事業主体の相互交流機会の提供
- ③ 次年度以降の具体的な展開に向けた準備
 - (1) 次年度以降の組織体(研究開発、事業開発等を含む)の検討
 - (2) 実証実験のプランニング・調整

本研究会の組織構成

1. 組織

- | | |
|-------------------|-------------------------------|
| ① 総会 | : 会員で構成 |
| ② 理事会 | : 理事及び事務局長から構成 |
| ③ 審議会 | : 審議会委員で構成し、法制度、社会的な意義、広報等を検討 |
| ④ 各種部会 | : 活動分野に対応して部会を設置 |
| 【2008年度設置予定部会】 | |
| ① カメラ・センサネットワーク部会 | (ビジネスモデル・ビジネスプラン、技術等の検討) |
| ⑤ 事務局 | : 事務処理に対応して事務局を設置 |

2. 役員等

- | | |
|-----------|--------------------------------------|
| (1) 会長 | : 1名 (本研究会を代表し、会務を総理します) |
| (2) 専務理事 | : 1名 (会長を補佐し、会長に不都合がある際に、その職務を代理します) |
| (3) 理事 | : 4-5名程度 (会長の命に従い、本研究会の会務を執行します) |
| (4) 事務局長 | : 1名 (会長の命に従い、本研究会の事務を処理します) |
| (5) 監事 | : 若干名(本研究会の会計を監査します) |
| (6) 審議会委員 | : 6-7名(本研究会の方針等に関して、必要な助言を行います) |

本研究会の運営

本研究会は、総会、実質的な運営を行う理事会、研究会全体の方向性に関し検討を行う審議会、具体的な活動を行う各種部会によって構成されます。

また、運営に必要な資金については、原則として、会員からの年会費、分担金、協賛金、その他の事業収入によって賄うものとします。

研究会への参加

本研究会では、以下の様な各種業界におけるWILLCOM COREをはじめとしたBWAユビキタスネットワークの活用とその可能性をともに考え、その流通推進に貢献して頂ける方々の参加を期待しております。

- ブロードバンドワイヤレスアクセスや空間情報・画像情報に関連した情報の流通／制作／利用等に携わっている企業の方々
- 大学等研究機関でブロードバンドワイヤレスアクセスやそれに係るアプリケーションの開発、また空間情報・画像情報流通に関する研究をなさっているの方々
- 自治体等でブロードバンドワイヤレスアクセスに関わるサービスを検討しているの方々

参加方法

本研究会では、その目的及び事業に賛同する企業又は団体の法人によって構成されます。

本研究会の参加に際しては、利用規約に同意いただき、所定の参加申込書にご記入いただいた上、理事会による審議にて参加の可否を決定させていただきます。予めご了承ください。

参加頂ける方々は、下記の通り所定の年会費を納入して頂きます。

年会費	:	理事会員	50万円
		一般会員	30万円
		学会会員・特別会員	年会費免除

理事会員は、本会の方針・活動・運営等について関与することができます。

また、納入された年会費等は返還致しません。

BWAユビキタスネットワーク事務局

株式会社 ウィルコム 次世代事業推進室内
〒105-8477 東京都港区虎ノ門3丁目4-7
FAX 03-5400-5733
担当 笠原、竹内、長村

BWA Ubiquitous Network Conference

BWAユビキタスネットワーク研究会

設立のご案内

2008年7月

BWAユビキタスネットワーク研究会

事務局